

Panasonic
i-PRO ネットワークカメラ WV-SFN310J
V4.80 版 リリースノート

目次

[変更履歴](#)
[ダウンロードファイルについて](#)

変更履歴

Ver V4.80ES

<改善項目>

- セキュリティ強化を実施
- 解像度変更、撮像モード変更を繰り返し実施すると、稀に黒画になることがある現象の改善

Ver V4.70ES

<機能追加>

- 生産工場でプリインストールされる電子証明書を「DigiCert 社」から「Global Sign 社」へ変更。本バージョンアップのみでは変更されません。セキュア通信を実施されている場合の影響などの詳細については、[こちら](#)を参照ください。

<改善項目>

- HTTP アラーム通知機能の以下の内容の改善
 - ・Digest 認証対応
ID/PW 無しで初回アクセスし、サーバーからの応答を元に Digest/Basic のいずれかで認証する。
 - ・サーバーとのユーザー認証失敗時のシステムログ追加
認証エラー時、「<HTTP アラーム通知> 認証エラー」のシステムログを表示する。
 - ・HTTPS での送信機能
通知先に、“https://”を設定した場合、HTTPS のサーバーと判断し HTTPS でのアクセスを実施する。
- 接続方法を HTTP から HTTPS への変更する際、1 クライアントあたりのビットレートが 4096kbps を超えて設定されていた場合に、HTTPS 通信における総配信量 16Mbps 制限を考慮して自動的に 4096kbps へ変更する動作から、ビットレート設定を変えずに運用環境に応じたストリーム配信ができるよう改善。併せて、接続方法の設定画面に HTTPS 接続の総配信量 16Mbps 制限に関する注記を追加。(2021/10 記載内容一部修正)

Ver V4.30ES

(V4.00より古いバージョンからのバージョンアップには、V4.00を経由した2段階のアップデートが必要です。詳細は[こちら](#))

<改善項目>

- ライブ画表示の際に、稀に画像が黒くなってしまうことがある現象の改善
- Windows10 における、HTTPS 接続における再接続時の応答改善
- 表示用プラグインソフトウェア (ActiveX) 内に記載されている旧社名を新社名に変更

Ver V4.10ES

(本バージョンへのバージョンアップには、V4.00を経由した2段階のアップデートが必要です。詳細は[こちら](#))

<改善項目>

- 音声が届かなくなることがある現象の改善
- セキュリティ強化を実施
- アラーム独自通知機能に「検知エリアNo」と「検知条件」を以下の項目に追加
 - ・方向検知アラーム

- ・置き去り/持ち去り検知アラーム
- ・ラインクロス検知アラーム
- DDNS設定画面の「ダイナミックDNS Update (DHCP連携なし)」「ダイナミックDNS Update (DHCP連携)」に注記文言を記載
- バージョンアップ画面に オープンソースソフトウェア(OSS)のライセンスを表示
- SDメモリーカードの上書き録画中にログリストを開き、参照するとファイルが見つからないことがある現象の改善

Ver V4.00ES

<改善項目>

- FTP定期送信エラー時の保存先が変更できない現象の改善
- 「ネットワーク」設定の「HTTPの最大セグメントサイズ」の設定で以下の機能を連動するように改善
 - ・HTTPアラーム
 - ・みえますねっと(アクセステスト)
 - ・みえますねっと(通知)
- セキュリティ対策の強化を実施
- 録画データをログリストからダウンロードする際に、当該時刻の1つ前のログの録画データがダウンロードされることがある現象の改善
- SDカードへのJPEG上書き録画中に削除不可能なファイルができた際に、カメラ再起動してしまうことがある現象の改善
- ログリスト画面でのSDカードデータ削除時、再生画面を表示中に削除できないデータが残ることがある現象の改善
- ネットワークディスクレコーダーNXシリーズとの接続時、稀に通信エラーが発生する現象の改善
- overRTSP 接続でネットワークが切断された後、2分以内に配信方式(H.265/H.265) (H.264/H.265) の設定変更、解像度の変更を実施すると、変更完了前のストリームが配信されてしまうことがある現象の改善
(記載誤りのため修正 2023/6/8)
- ネットワークディスクレコーダでシーケンス運用時、映像を出力するまでに時間がかかり、黒画になってしまうことがある現象の改善
- ネットワークディスクレコーダーもしくは映像監視ソフトウェア(WV-ASM300など)をシーケンス動作させた場合にカメラが再起動することがある現象の改善
- ネットワークディスクレコーダでSDメモリーバックアップされたデータをダウンロードすると、カメラが再起動することがある現象の改善
- セキュリティ強化に伴い、設定データの暗号化方式を変更*
※Ver4.00以降でバックアップした設定データを、Ver4.00より前のバージョンで動作するカメラにリストアすることはできません。

Ver V2.70ES

<改善項目>

- 映像配信(JPEG)を1年以上連続運用していた場合に、フレームレートが低下する可能性がある現象の改善

Ver V2.60ES

<改善項目>

- 工場出荷状態の初期のパスワード認証方式を「Digest or Basic」から「Digest」に変更
- 工場出荷状態の初期のパスワードの使用文字種を「英字/数字/記号」のうち2種以上を選択する仕様から「英字大文字/英字小文字/数字/記号」のうち3種以上を選択する仕様に変更
(変更に関するお知らせは[こちら](#))
- ホスト認証にユーザー認証機能を追加
- システムログにログイン失敗した履歴を表示
- 設定データを暗号化して保存するように変更
※ファームウェアを以前のバージョンに戻した場合、設定データがリストアできなくなりますのでご注意ください。
- その他セキュリティ対策を強化(2018/10/22 記載内容一部変更)
- プラグインソフトウェアに、[描画方式]、[デコード方式]、[ライブ画フレームスキップ表示(PC 高負荷時)]を追加
- 配信量制御(ビットレート)の初期値を以下に変更
変更前:制限なし
変更後:51200kbps

Ver V2.58ES

<改善項目>

- セキュリティ強化を実施

- 配信方式で「マルチキャスト」選択時、RTSP 配信はユニキャストのみだったが、その制約を廃止
- みえますねっとポータル画面のライブ画像が、「Google Chrome 64.0 for Windows」で表示できなくなる現象の改善 (2018/3/26 一部表現を変更)
- 管理者パスワードが削除されることがある現象の改善

Ver V2.56ES

<改善項目>

- ActiveX 内の旧社名を新社名に変更
- 画面内のサポートウェブサイトの URL を変更

Ver V2.54ES

<改善項目>

- H.264 の配信モードを変更すると、意図せずリフレッシュ間隔が 8 秒に変更されることがある現象の改善
- NTP サーバーとの時刻補正において、5 秒以内のずれでは補正されないことがある現象の改善
- ネットワークディスクレコーダ WJ-NX400 の RTSP モード配信時に、連続運用中に配信が停止することがある現象の改善 (2017 年 5 月 記載漏れのため追記)

Ver V2.52ES

<改善項目>

- セキュリティ強化を実施

Ver V2.50ES

<機能追加>

- [配信量制御(ビットレート)]の選択に以下の内容を追加
10240 kbps/15360 kbps/20480 kbps/25600 kbps/30720 kbps/35840 kbps/40960 kbps/51200 kbps
- [スマートコーディングモード]に[On(Mid)]、[On(High)]を追加
- 撮像モードに「2 メガピクセル[16:9](30fps モード)」を追加
※但し、本モード選択時には「1280×720」の解像度は選択できません

<改善項目>

- 画面内のサポートウェブサイトの URL を変更
- NTP の仕様を一部改善(ご使用については影響ございません)
- 設定画面のテキスト文字入力欄に「</script>」を入力すると、レイアウトが崩れることがある現象の改善
- 「配信量制御」を「1 クライアントあたりのビットレート」以下に設定しようとする、設定確認のアラート画面が表示される仕様だが、H.264(2)~H.264(4)の「1 クライアントあたりのビットレート」のチェック処理が抜けていた点を修正
- スマートコーディングの設定を On にし、H.264 ストリームを、SD 録画のストリームに設定すると、スマートコーディングが強制的に Off になり、リフレッシュ間隔の設定が本来 1s に戻るべきだが、内部的にリフレッシュ間隔が 8s のままとなる。その結果 SD 録画した H.264 が異常データとなることがある現象の改善
- H.264 ストリームの接続/切断を繰り返すと、カメラが再起動することがある現象の改善

Ver V2.43ES

<改善項目>

- Ver.2.00 以降へ Ver.1.71 以前の設定値をリストアできないことがある現象の改善

Ver V2.41ES

<改善項目>

- 稀に起動に時間がかかることがある現象の改善

Ver V2.40ES

<改善項目>

- ユーザー認証の初期値を「Off」から「On」に変更
- ユーザー名、パスワードの初期値「admin」「12345」を削除し、入力条件を「4～32 文字」から「8～32 文字(英数字の混在必須)」に変更
※すでに設定済の機器をバージョンアップしても従来のユーザー名、パスワードは削除されません。設定画面や初期化ボタンで初期化すると改めて設定が必要になりますのでご注意ください。
- 機能拡張ソフトの「顔ベストショット」機能使用時に、バッファに本来除去されるはずのノイズが蓄積され「顔ベストショット」が送信されなくなる(顔照合システムで失報が発生する)と同時にメタデータが送信され続けることがある現象の改善(2016/6/10 記載漏れのため追記)

Ver V2.02ES

<機能追加>

- [みえますねっと PRO]を統合後の新「みえますねっと」に対応
※2016 年 2 月の「みえますねっと」サービスリニューアルに伴い、「みえますねっと Pro」ご利用のお客様は、サービス終了する 2016 年 6 月 30 日まで、そのままバージョンアップすると DDNS サービスが停止しますのでご注意ください。

<改善項目>

- VMD画面、音検知画面表示中は、アラーム通知が行われないことを、それぞれの画面へ説明文追加

Ver V2.00ES

(本バージョンへのバージョンアップには、中間ファームウェア V9.99 による 2 段階のバージョンアップが必要です。詳細は[こちら](#))

V2.00 以降のバージョンでバックアップした設定データを V2.00 より古いバージョンにリストアすることはできません。あらかじめ、リストアするカメラのファームウェアを V2.00 以降にバージョンアップしてリストアしてください。(2016 年 10 月 記載漏れ追記)

<機能追加>

- [スマートコーディングモード]機能を追加
- ファームウェアのセキュリティ対応
- 設定画面の Safari/Firefox/Google Chrome 条件付対応。検証バージョンは以下です。
 - ・Safari: v5.34.57
 - ・Google Chrome: v44.0.2403
 - ・Firefox: v39.0.0制限事項については[こちら](#)を参照ください。

<改善項目>

- 機能拡張ソフトの iVMD 機能の設定の上限値を変更
[変更前] 100%,150%,200%,250%,300%
[変更後] 100%,150%,200%,250%,300%,350%,400%,450%,500%,制限なし
- ユーザー設定画面でユーザー管理画面、メンテナンス画面の画面レイアウトが崩れることがある現象の改善

Ver V1.87E

<機能追加>

- ビジネスインテリジェント拡張キット WJ-NVF30JW に対応

<改善項目>

- 画質改善を実施

1. 解像感改善
 2. S/N を改善
 3. H.264 の画質改善
- 時刻補正方式を、手動→NTP に切り替えたあとに「タイムゾーン」を設定すると、同期時にタイムゾーンが正しく反映されないことがある現象の改善
 - 白黒映像状態でオートフォーカスを実施し、その後、設定データをバックアップすると、リストアできない現象を改善
 - ライブ画面内文字に「ガ」「パ」などの濁点・半濁点を含むカナ文字を 8 文字以上入力すると、エラー (500 エラー、もしくは、403 エラー) になることがある現象の改善

Ver V1.85E

<改善項目>

- 稀に再起動することがある現象の改善

Ver V1.84E

<改善項目>

- SD メモリーカードの異常発生時にカメラがエラー応答をしないため、録画サーバーシステム「ArgosView」が JPEG のバックアップ録画機能使用時に異常から復帰できなくなることがある現象の改善
※SD メモリーカード異常時に、エラー応答をするように改善しました

Ver V1.83E

<改善項目>

- 最大ファイルサイズ 20MB 設定で SD メモリーカードへ録画した H.264 録画ファイルを PC ソフトウェアパッケージ WV-ASM200 からダウンロードする機能に対応。(WV-ASM200 の V3.30 以降へのバージョンアップも必要です)
- 映像配信停止が発生した場合に、再起動させることで停止の状態を復旧させる改善を実施
- CSV ファイルのダウンロード中に PC 側 LAN ケーブルを抜き差しすると、HTTP アクセスを受け付けなくなることがある現象を改善
- VMD 検出精度の改善 (VMD 感度を調整されているご使用環境では、VMD 検出数が増える場合がありますのであらかじめご了承ください) (2015/5/14 記載漏れ追記)

Ver V1.82E

<改善項目>

- V1.71 以前でバックアップしたカメラの設定値を V1.80 にリストアすると再起動することがある現象の改善
- 録画ビューソフト BB-HNP17 に登録した際に、無効になるはずのプリセットボタンが有効になる現象の改善

Ver V1.80E

<機能追加>

- 「音声圧縮方式」に「AAC-LC(高音質)」を追加
- Safari/Firefox/Google Chrome での H.264/JPEG 表示に対応([制限事項についての詳細はこちら](#))
- 「バージョンアップ」タブ内に、機能拡張ソフトウェアのインストール画面へのリンクを追加

<改善項目>

- Internet Explorer 互換性表示 OFF 時の画面表示を改善
- H.264 の配信モードを「アドバンスド可変ビットレート」設定時、ストリーム配信における画質が徐々によくなる点を初めからよい画質で配信できるように改善
- ASF900 における顔ベストショットの顔照合機能のための画像選別処理の改善
- iVMD(WV-SAE200)インストール済み、かつ、動作検知アラーム種別が VMD の場合、ライブ画のアラームアイコン表示が iVMD 時の表示となってしまうことがある現象の改善
- ライブ画の日付、時刻表示が一部乱れて表示することがある現象の改善
- 機能拡張ソフトウェア「SAEASF(顔ベストショットアプリ)」をインストールし有効化すると、iVMD 設定が有効になる現象の改善

Ver V1.71E

<機能追加>

- [AGC(音声)]設定を追加
- [日時&画面内文字]の表示設定の拡張
- [コントラスト強調表示(RGB:0-255)]機能を追加
- JPEG の 1shot 取得時、JPEG の拡張領域に iVMD 情報を重畳するように仕様変更
- [プライバシーゾーン]の[表示形式]機能(モザイク表示)を追加

<改善項目>

- プラグインソフトの改善
 - ・描画遅延が蓄積しないように改善
 - ・スクロール時の画崩れ改善
 - ・上記の改善に伴い、プラグインソフトウェアの容量が増加。(約 2MB→約 3.8MB)
- iVMD の検出精度改善
- 配信モードが可変ビットレート設定時の H.264 の画質を改善
- タイムゾーンを 2014 年 10 月の状態に更新
- H.264 を RTSP 制御で配信している際、RTSP のポート番号を変更すると、以降 RTSP 制御で H.264 を配信できなくなる現象の改善

Ver V1.59E

<改善項目>

- WV-ASM200/ASM20 との接続性の改善

Ver V1.58E

<改善項目>

- 生産工場での工程検査改善(お客様への操作、設定に関する影響はございません)

Ver V1.57E

<改善項目>

- overRTSP でのストリーム配信時に、設定変更による配信の接続・切断を繰り返すと、配信が停止したり、以降配信開始できなくなることがある現象の改善
- RTSP で接続中にレコーダなどの接続機器を再起動させて、ストリームの切断/接続を繰り返すと、映像配信ができなくなることがある現象の改善
- overRTSP で映像配信している際、3 クライアント以上が接続断(ケーブル抜け状態など)になると、約 5 分後にカメラが再起動することがある現象の改善

Ver V1.55E

<機能追加項目>

- JPEG/H.264 タブの配信モード設定に「可変ビットレート」を追加
(配信モードに「可変ビットレート」を選択した H.264 ストリームは、SD メモリーカード録画の録画圧縮方式に設定できません。)
- 設定画面における H.264 の「最大ビットレート(バースト時)」を「最大ビットレート(アドバンスド可変ビットレート時)」に文言変更
- 設定画面における H.264 の「制御期間(可変ビットレート時)」を「制御期間(アドバンスド可変ビットレート時)」に文言変更
- 画質調整に「強光補正」機能を追加
- ライブ画ページの「ログ」を表示、操作できるユーザのレベルを設定する「ログ表示許可レベル」機能を追加
- アラーム発生時のプレ画像をFTP転送する機能を追加
- バージョンアップ画面にサポートウェブサイトへのリンクを追加
- 音声送話の最長時間を設定(1/2/3/5/10/20/30/60min)できるように「連続送話時間」機能追加(従来は 5 分固定)

- アラーム発生後の無検知時間を設定(5/10/30s/1/3/5/10min)できるように機能追加(従来は5秒固定)
- 設定できるタイムゾーンの時刻と都市の組み合わせを、最新の状態に更新
- Internet Explorer11 使用時、「互換表示」設定が Off でもライブ画を正しく表示できるように改善
- ライブ画面のタイトルバーにサポートサイトへのリンクを表示
- ONVIF ProfileG 機能に対応

<改善項目>

- スーパーダイナミック ON 時の映像が白浮き気味である現象や、コントラスト、S/N などの画質改善
- 輝度の高い部分が青みがかった画質を改善
- マルチスクリーンにて4画表示、16画表示、1画表示(ライブ画に戻る)などの操作を繰り返すと、映像が配信されなくなることがある現象の改善
- システムログに出力される時刻が+9:00 固定となっていたため、ログ発生時のローカル時刻になるように改善
- Diffserv 設定画面の DSCP 入力欄を空欄にして設定ボタンを押すと 403 エラーとなっていた現象を「入力内容に誤りがあります。再度入力してください。」というメッセージを出すように改善
- NTP の「時刻調整設定」を切り替えたときに正常に動作しないことがある現象の改善
- ホスト認証で長いホスト名を登録したときに、「ホスト確認」のコンボボックス上にマウスカーソルを乗せた際に表示されるチップヘルプが欠ける現象を改善
- ベストエフォートモードでの配信時、配信ビットレートが不安定になることがある現象を改善
- 設置時調整用のモニター出力からの映像にて、映像の下半分が正しく表示されなくなることがある現象の改善
- 使用する PC の OS/IE によって、ライブ画において、ミュート状態でボリュームを調整するとブラウザの周辺のレイアウトが崩れることがある現象の改善
- ホスト認証にて長いホスト名を登録すると、ブラウザのレイアウトが崩れることがある現象の改善
- i-VMD 設定画面で設定ボタンを連続で押下すると、稀に画面がエラー表示になることがある現象の改善
- 映像が白黒状態のとき、スポットライトを当てるなど高輝度のときにハンチングすることがある現象の改善
- 最長露光時間設定を変更した場合に、スローシャッターが機能しなくなることがある現象の改善
- i-VMD やシーンファイルのスケジュールにおいて、
スケジュール 1: 12:00 - 12:05 シーンファイル 1
スケジュール 2: 12:05 - 12:10 シーンファイル 1
のようにスケジュール 1 の終了時間とスケジュール 2 の開始時間を同一にすると、スケジュール 2 が動作しない現象を改善
- カメラの画像表示内に表示される時刻表示が正午からの1時間が“0:xx PM”となっていたものを、“12:xx PM”に修正
- FTP 定期送信の設定をしたときに、設定ボタンを押しても設定が変更されないことがある現象の改善
- IE と互換表示設定の組み合わせによっては、H.264 録画の再生画面にて、スライドバーをマウスで動かす場合の操作性が悪かった現象を改善
- H.264 のストリーム 1 を配信 Off に設定すると、ライブ画にて初期表示の H.264 ストリーム以外を選択できなかった現象の改善
- H.264 録画の再生中に5秒送り、5秒戻し、ログ切り替えなどの操作を行うとリロードが発生し、ライブ画に戻ってしまうことがある現象の改善
- 顔検出 On(ライブ画表示あり)に設定し、クロッピングのアラーム連動を On に設定すると、クロッピングのストリームにて顔検出枠が表示されていたのを、既存機種に合わせて表示しないように修正
- H.264(1)の配信方式をマルチキャスト(IPv4 形式)やインターネットモード On に設定しておき、カメラに IPv6 でアクセスしている状態で、VIQS 画面にて H.264(1)ストリームの確認ボタンを押すと、スクリプトエラーが発生することがある現象を改善
- ライブ画表示、再生などを行っている H.264 ストリームの設定を、インターネットモード Off から On に変更した際に稀にリポートすることがある現象の改善
- 1080p、60fps で EX ズームを行っているストリームにおいて、設定したプライバシーゾーンが少しずれて表示される現象の改善
- IE11 の互換 Off 設定時、http://(camera IP)/cam にアクセスするとスマートフォン用の画面が表示されてしまうのを、ライブ画が表示されるように改善
- ライブ画を表示しようとするときに、ごく稀に正しく表示されず黒画になることがある現象の改善
- 夜間の屋外を映すような被写体にて、画質設定によってはハンチングすることがある現象の改善
- H.264 のストリーム配信を開始するタイミングで強制的に I フレームを挿入していなかったため、挿入するように修正
- 初期状態から接続モードを DHCP に変更し、UPnP(自動ポートフォワーディング)を On に変更しようとする、設定変更できない現象を設定できるように修正
- 撮像モードを 4:3 のモードに変更した後に i-VMD 機能のアクティベートを実施すると、i-VMD 設定を行ってもアラーム発報しない現象の改善
- SNMP にて取得できる「カテゴリ」の値が誤っていたものを修正
- ASM200/ASM970 などとの接続において、カメラ映像を表示されるまでの時間の短縮化の改善
- overRTSP 接続にてカメラの映像を配信している際に、別ウィンドウでブラウザを開いて設定画面に入り H.264 の設定を変更する。この手順を繰り返すと overRTSP 接続ができなくなる現象の改善
- H.264 のネットワーク断検知録画を ND400 と接続して行っている際、1つの録画データが分割されてしまうことがある現象の改善
- H.264 の配信において I フレームの強制挿入が繰り返されると(ASM200 や NV200、NV300 などでのシーケンス動作が該

当)、画質が劣化する現象の改善(2015/1/16 一部記載内容修正)

- セキュリティ強化を実施(ActiveX 更新)
- 顔検出感度を「低」に設定すると、PCソフトウェアパッケージ(顔検索サーバー)WV-ASF900 への顔ベストショット(JPEG ファイル)が送信されないことがある現象の改善
- スーパーダイナミック ON 時の逆光環境において、白黒画面への切換えレベルの改善
- スーパーダイナミック ON 時の逆光環境において、人の顔を明るく見えるように改善
- 明るい環境下における、低輝度部の解像感の改善
- その他、解像感の改善
- 顔ベストショットライセンス適用時の顔検出有効化
- SD メモリーカードのドライブを「E」から「B」に変更

Ver V1.53E

- 初版

ダウンロードファイルについて

sfv311_***E.zip、sfv311_***ES.zip は WV-SFN310J のファームウェアです。

ダウンロード後、ファイルをダブルクリックし解凍(拡張子 bin または img に)してバージョンアップにご利用ください。

※バージョンアップの手順は、各機種の取扱説明書を、ご参照ください。